#### 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 国語 科目 現代の国語

 

 教 科: 国語
 科 目: 現代の国語

 対象学年組:第 1 学年 1 組

 **単位数: 2 単位** 

教科担当者: (1組: 渡邉 ) 使用教科書: (新編 現代の国語(大修館書店)

教科 国語

【知 識 及 び 技 能 】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値や我が国の言語文化への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標:

П								1		
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	領域書	読	評価規準	知	思	態	配当 時数
	○ことばの学びに向けて ・評論の誘解を通して自分の考えをも つ。	「『変わる』ことを楽しもう」茂木 は一郎 である」ことについて筆者の考 えを読み取り、高校生活を始めるに あたっての参考にする。 ・これからの学習で取り組みたいこ と、興味のあることについて、自分 る。 〈教材〉 ・教科書 ・ワークシート			0	【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	0	0	0	6
	○ことばの準備体操 ・これから取り組んでいくさまざまな 言葉の学習のために、準備する。	ことばの準備体操 ・発音や関き方に注意して話したり 関いたりする。 ・読みやすくわかりやすい字で正確 に書く。 ・声量や速さ、間、強弱を工夫して 音読する。  < 教材 > ・教科書 ・ワークシート	0	0	0	【知識・技能】 ・言葉の大切さを意識し、よりよい言葉の使い 方を工夫しながら「話す」「聞く」「書く」 「読む」活動に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】・話し言葉と書き言葉の特徴を意識し、はっきりした発音、適切な聞く姿勢、読み手にとってわかりやすいシアド、音読の工夫に注意しながら活動に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に取り出して音欲をもっている。	0		0	3
	<ul><li>○ことばの基礎</li><li>・基礎的な国語の語彙を身に付ける。</li></ul>	<ul><li>・漢字の読み書き(漢検10~7 級)</li><li>(教材&gt;</li><li>・漢字プリント</li></ul>		0		【知識・技能】 ・ 漢検 10~7級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 漢検 10~7級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	0		0	4
	定期考査						0	0		1
1 学期	○わかりやすく説明する ・評論の読解を通して説明のしかたを とらえる。	「人間はゴリラとチンパンジーのど ちらに近いか」山極寿一 ・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題 提起と答えに着目して、文章の構成 をつかむ。 〈教材〉 ・教科書 ・ワークシート			0	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【三膝むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて象がでもとに的確にとらえ、要旨や要を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】・横極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。	0	0	0	5
	○日本語を使いこなす ・場面に応じたことばの使い分けにつ いて適切に理解する。	ことばの使い分け ・場面や目的に応じて適切な言葉を 遠ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語の ニュアンスの違いを理解し、適切に 使い分ける。	0	0		【知識・技能】 ・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しくい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉や表現をエましている。 ・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉や表現を工夫している。 ・「書くこと」において、場面や目的に応じたる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	0	0	0	4
	<ul><li>○ことばの基礎</li><li>・基礎的な国語の語彙を身に付ける。</li></ul>	<ul><li>・漢字の読み書き(漢検10~7 級)</li><li>(教材&gt; ・漢字プリント</li></ul>		0		【知識・技能】 ・漢検10~7級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検10~7級程度の語彙の学習に対して意 欲をもっている。	0		0	4
	定期考査						0	0		1

#### 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 科 科 目: 現代の国語 国語 科目 現代の国語

**単位数: 2 単位** 

 物料:
 国語
 科目:
 現場

 対象学年組:
 第1学年 1組

 教科担当者:
 (1組: 渡邉)

 使用教科書:
 (新編 現代の国語(大修館書店)

教科 国語

【知 識 及 び 技 能 】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値や我が国の言語文化への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標:

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるよ   論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力   言葉がもつ価値への認識   うにする。   を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の   生涯にわたって読書に親	
つにする。	如しゅウコナウレナ
思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにすせ、我が国の言語文化の	
る。 をもち、言葉を通して他とする態度を兼る。	他者や社会に関わろう

単元の見ためた地湾ロ標	也溢在口,中中		領域 評価規準		表示 /正 土日 /体	4:n	思	±15	配当
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・閉	書	読	計	知	芯	態	時数
<ul><li>○論理を読み取る</li><li>・評論の説解を通して、論理の展開を 読み取る。</li></ul>	「商品と贈り物の違い」松村主一郎 ・対比の関係を意識しながら読む。 ・具体例の働きをとらえ、具体と抽 象の関係を考えながら読む。 〈教材〉 ・教科書 ・ワークシート			0	【知識・技能】 ・対比、例示、言い換えなどについて理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 「思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】・積極的に学習に取り組み、対比の関係、具体と抽象の関係をとらえようとしている。	0	0	0	6
○聞く力を育む ・より深い人間関係を築いていくため に、聞く力を高めるレッスンに取り組 む。		0			【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や表現の特色をふまえ、正確に聞き取っている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、必要な情報を意識しながら聞き、情報を適切に整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「聞くこと」の大切さを理解し、聞き取りの学習活動に積極的に取り組むうとしている。	0	0	0	3
	ミニインタビューをしよう ・必要な情報を相手から引き出せる よう、質問しながら開く。 ・話の展開に注意し、話を広げたり 深めたりしながら開く。 ・聞き取った情報を活用するための メモを取る。	0			【知識・技能】 ・話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して話の内容や展開、質問のしかたを工夫しながらインタビューを行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。	0	0	0	3
<ul><li>○ことばの基礎</li><li>・基礎的な国語の語彙を身に付ける。</li></ul>	<ul><li>・漢字の読み書き(漢検10~7 級)</li><li>〈教材〉</li><li>・漢字ブリント</li></ul>		0		【知識・技能】 ・ 漢検 10~7級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 漢検 10~7級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	0		0	2
定期考査						0	0		1
<ul><li>○情報と向き合う</li><li>・情報を吟味しながら読む。</li></ul>	「情報の力関係」 佐藤雅彦 ・図との関係に注意しながら、文章 を読み取る。 ・文字・図形・絵などが読者に与え る効果の違いについて考える。 〈教材〉 ・教科書 ・ワークシート			0	【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 ・「危難の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】・「読むこと」において、文章や図形などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展隣などについて評価したりし、自分の考え体的に学習に取り組む態度】 ・「注体的に学習に取り組む態度」・「注体や関係などから必要な情報を読み取ろうとしている。	0	0	0	5
	「世界は私にほほえんでいる」 ・図との関係に注意しながら、文章 を読み取る。 ・筆者の主張と根拠の関係を吟味しながら読む。 〈教材〉 ・教科書 ・ワークシート			0	【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】・「読むこと」において、文章や図を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開について評価したりし、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】・図との関係に注意しながら、筆者の主張を読み取らりとしている。	0	0	0	5
<ul><li>○伝え合いのレッスン・伝え合う力を高める。</li></ul>	対話のレッスン・相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。 ・コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを知り、対話に生かす。 〈教材〉 ・教科書 ・ワークシート	0			【知識・技能】 ・話し言葉の特色をふまえ、相手や場面に配慮した言葉造いや表現のしかたを理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手や場面に配慮し、言葉以外の要素も意識しながら、話の内容や表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対話の力やコミュニケーション力を高めることに関心をもち、意欲的に学習活動に取り組も	0	0	0	4
○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付ける。	<ul><li>・漢字の読み書き (漢検10~7 級)</li><li>く数材&gt;</li><li>・漢字ブリント</li></ul>		0		【知識・技能】 ・ 漢検10~7級程度の語彙が身に付いている。 ・ 漢検10~7級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 漢検10~7級程度の語彙の学習に対して意 欲をもっている。	0		0	4
定期考査					7	0	0		1

## 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科

科目 現代の国語 

 教 科: 国語
 科 目: 現代の国語

 対象学年組:第 1 学年 1 組

 **単位数: 2 単位** 

教科担当者: (1組: 渡邉 ) 使用教科書: (新編 現代の国語(大修館書店)

教科 国語

【知 識 及 び 技 能 】 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値や我が国の言語文化への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

国語

科目 現代の国語 の目標:

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		領域		評価規準	知	思	熊	配当
	,		話・聞	書	読		М	ies.	ne:	時数
	○説得力を高める ・意見文の書き方の基礎を身に付ける。	意見文の基礎を学ぼう ・意覚文の基本的な書き方と、構成 のしかたを知る。 ・意見と理由を備えた基本的な意見 文を書く。		0		【知識・技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、意見と理由(根拠)の関係を考えて、文章の構成や展開を工夫している。・「書くこと」において、推厳の観点を理解して自分が書いた文章を見直し、文章全体を整えたり改善したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文を書くことに興味をもち、意見文の基礎を意欲的に習得しようとしている。	0	0	0	6
3 学期	<ul><li>○社会に目を向けて</li><li>・自分の考えを深めながら読む。</li></ul>	「何のために『働く』のか」姜尚中 ・筆者の問題意と主張を、具体例 に気をつけながら読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分 の考えを広げる。		0		【知識・技能】 ・例示や言い換えなどの述べ方について理解している。 ・筆者の主張とその根拠の関係について理解している。 「思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、筆者の主張とその根拠となる具体例についてとらえている。 ・「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	0	0	0	5
	○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付ける。	<ul><li>・漢字の読み書き(漢検10~7 級)</li><li>〈教材〉</li><li>・漢字プリント</li></ul>		0		(知識・技能】 ・漢検10~7級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検10~7級程度の語彙の学習に対して意 欲をもっている。	0		0	4
	定期考査						0	0		1 合計
										78

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

単位数 2 単位 科 目: 公共 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に	
切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け	合意形成や社会参画を視野に入れながら構想し	
る。		力し合うことの大切さについての自覚などを深
		める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>東1部</b> 社会をにせった。 本共の扉 本社会を作ど成子 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、	・青年期とは ・自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 ・伝統・文化と私たち	【知識な ・自らの大きな ・自らの大きな ・力を ・力を ・力を ・力を ・力を ・力を ・力を ・大ので ・大のの ・大の ・で ・大して ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・で ・大して ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・で ・大して ・大の ・大の ・大の ・で ・大して ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の ・大の	0	0	0	5

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

単位数 2 単位 科 目: 公共 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に	
切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け	合意形成や社会参画を視野に入れながら構想し	
る。		力し合うことの大切さについての自覚などを深
		める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第2章	<ul> <li>・古代ギリシアの人間観</li> <li>・科学と人間</li> <li>・自由の実現</li> <li>・社会を作る人間</li> </ul>	【知識及 ・ で ・ で ・ で ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	0	0	0	5
定期考查		・これまでの学習内容を理解している。	0	0		1

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

科 目: 公共 単位数: 2 単位 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に	
切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け		もに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協
る。		カし合うことの大切さについての自覚などを深
		める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第3章 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・公正な社会をめざして	【知識問題を表示を表示を表示を表示という。 ・参よのある、る得書を表示を表示というでは、一切である、となって、でで、表示を表示という。 は、一切である、となって、表示を表示という。 は、一切である、となって、表示を表示という。 は、一切である、となって、表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	0	0	0	5

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

単位数 2 単位 科 目: 公共 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課
	多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、	
切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け	合意形成や社会参画を視野に入れながら構想し	
る。	たことを議論する力を養う。	力し合うことの大切さについての自覚などを深
		める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第4章 民主社会の倫理 ・各生性会の倫理 ・各生性会の倫理 ・各生性の表見や対象を通したと社が、会別を通したとが、会別を変更を通したとが、会別を変更を変更を変更を表現についてである。他のでは、人会の公とで、人会の公とで、人生で、人会の公とで、人生で、人会の公とで、人間・権利とおける。他のなど、人間・権利とおける。他のなど、とのは、人名とは、一人というのでは、人名の人とは、人名の人とは、一人というのでは、人名の人というのでは、人名の人と、人名の人と、人名の人と、人名の人名、人名、人名、人名、人名、人名、人名、人名、人名、人名、人名、人名、人名、人	・自由・権利と責任・義務	【知識及び技能】 ・各人の意見が持動と ・各人の意見が利害を公平・剪筋と対して ・人間の確保を必要である。 ・人間の確保を必要である。 ・人間の確保を必要である。 ・人間の主要を使している。 ・人間の主要がある。 ・人間の主要がある。 ・人間の主要がある。 ・人間の主要がある。 ・人間の主要がある。 ・人間の主要がある。 ・人間の主要がある。 ・人間の主要がある。 ・人間では、一人の事をである。 ・人間では、一人の事をである。 ・人間では、一人の事をである。 ・人間では、一人の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の	0	0	0	5
	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度	【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通りして、人間の尊厳と共に関係の可能と社会の安定性の確保を必要であることについて理解している。・個人の理算には、法の理について理解して、主主、法の支配など、理考力、、判断力、表現力等】・公共的な空間におけるを表現である。 【思考力、判断力、表現力等】・公共的な空間におけるを対して、個人と社会の思理について表する活動を通して、個人と社会に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】・よりよいないまの。理解を通して、参画するにないます。	0	0	0	5
定期考査		・これまでの学習内容を理解している。	0	0		1

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

科 目: 公共 単位数: 2 単位 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に	
	多面的・多角的に考察し公正に判断する力や。	
切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け	合意形成や社会参画を視野に入れながら構想し	
る。	たことを議論する力を養う。	力し合うことの大切さについての自覚などを深
		lめる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第2都	・新しい人権	【知識及び技能】 ・法や規称を養養を関われている。 ・法や規称を対する。 ・技・公人の、では、この、では、のの、では、など、のの、では、の、の、では、の、の、では、の、の、では、の、の、で、の、の、の、の	0	0	0	6

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

科 目: 公共 単位数: 2 単位 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】			
		よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課			
		題を主体的に解決しようとする態度を養うとと			
切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け		もに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協			
る。		カし合うことの大切さについての自覚などを深			
		める。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2学期		・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治	【知識及び技能】・可談及で表情を自然を表情を自然を表情を自然を表情を自然を表情を自然を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を	0	0	0	7
	定期考査		・これまでの学習内容を理解している。 	0	0		1

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

単位数 2 単位 科 目: 公共 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に	
	多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、	
	合意形成や社会参画を視野に入れながら構想し	
る。		力し合うことの大切さについての自覚などを深
		める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 現代の経済社会と国民 (特別・ (1) (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	・経済主体会の会み・市場のの企業・国民の企業・国民の企業・国民の企業・国民の企得長と割 日本の役別の行動と別の行動との行動との行動との対しています。 日本の財政の課題	【知識及び技能】・雇所という。 ・雇所という。 ・雇所という。 ・雇所という。 ・雇所という。 ・雇所という。 ・一、では、 ・一、で、、 ・一、で、、 ・一、で、、 ・一、で、 ・一、	0	0	0	7
第2章 日本経済の特質と国際 日本経済の特質と国際 日本経済の特質と国際 日本経済の特質と国際 日本経済の特質と国際 日本経済の特質と国権問題の社会 日本経済の 日	・戦後日本経済の成長と課題 ・転機に立つ日本経済の成長と課題 ・転機に立つ日本経済社会の実施の変化と中小企業 ・農業者と問題 ・公学の問題と労働問題・公労働問題・カの役割のになの役割・社会保障・制度の課題	【知識及び技能】・多様な契約及び持能】・多様な契約及び消費者の権利と責任、にるを対した。 ・多様な契約分働計題、定義では、できながあるが対した。 一、できな対しなが強力を関すると、できながあるがあると、できな済がたと、で移入であると、できなががたりのであると、できなががたりのであると、できなががたりのであると、できながができる。できながができると、できなが、できなが、できなが、できなが、できなが、できなが、できなが、できなが	0	0	0	7
定期考査		・これまでの学習内容を理解している。	0	0		1

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

単位数 2 単位 科 目: 公共 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に	
念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適		
切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け	合意形成や社会参画を視野に入れながら構想し	
る。	たことを議論する力を養う。	カし合うことの大切さについての自覚などを深
		める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 国際社会と人類の課題 第1章 国際社会と人類の課題 課題・国際政治の動向と課題では、 ・ は、 ・ は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	・国際社会と国際法 ・国際連合と国際協力 ・こんに国際連合と関係協力 ・ストルのでは、国際連合と国際政治 ・人工が、関連を持ち、国際である。 ・国際である。 ・国際である。 ・国際である。 ・国際である。	【知識及び技能】 ・	0	0	0	6
第2章 国際経済の動向と課題 ・経済の動向と課題 ・経済の動向と課題 ・経済の動向とは ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済であいたと ・経済が世に ・経済が世に ・と国に になる時代を経済が ・と国に で経済が ・と国に で経済が ・と国に で経済が ・と国に で経済が では ・経済が では ・との ・経済が では ・経済が では ・経済が では に変る関本 にで ・経済が では にで がは にの にの にの にの にの にの にで がは にの にの にで がは にの にの にで がは にの にの にで がは にの にの にで がは にの にで がは にの にで がは にの にで がは にの にで がは にの にで がは にの にで がは にの にで がは にの にで がは にの にで がは にの にが にで がは にの にが にで がは にの にが にで がは にの にの にで がは にの にの にで がは にの にが にが にが にが にが にが にが にが にが にが	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・地域的経済統合の進展 ・国際経済のつながりと課題 ・発展途上国の諸課題と日本の役 割	【知識及び技能】・経済の治性の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係を関係の関係を関係の関係を関係を関係の関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関	0	0	0	6

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 公民科 科目 公共

科 目 公共 単位数: 2 単位 教 科: 公民科

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: ( 1組:木暮 )

使用教科書: (『公共』実教出版社 )

教科 公民科 の目標: 【知識及び技能】先哲の考え方や政治・経済のしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について資料をもとに考え、自らの考えを論拠を明確にして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために、他者の意見を尊重しつつ「答えのない問い」を主体的に解決する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に	
切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け	合意形成や社会参画を視野に入れながら構想し	
る。		力し合うことの大切さについての自覚などを深
		める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第3部 特練可能な社会づくりの主体となるがあたち、   ・の本をなる別で、   ・のの形式を、   ・ののの形式を、   ・ののの形式を、   ・ののの形式を、   ・ののの形式を、   ・ののの形式を、   ・ののの形式を、   ・ののの形式を、   ・ののの形式を、   ・のので、   ・のの形ないる。   ・のの形ないる。   ・のの形ないる。   ・のの形ないる。   ・のの形ないる。   ・のの形ないる。   ・のの形ないる。   ・のの形ないる。   ・のので、   ・ののでで、   ・ののででは、   ・ののでは、   ・ののでは、	・情報の収集 ・レポートの書き方 ・ディベートをしてみよう	【思考力、判断力、表現力等】 ・地域の創造、よりない場合では、		0	0	9
定期考查		・これまでの学習内容を理解している。	0	0		1 合計 78

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学 I

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1組: 横山 )

使用教科書: (新数学 I / 新数学 I 解答編 (東京書籍)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用し、物事を論理的かつ他の事象と関連付けながら統合的・発展的に考察する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、データの分析についての基本的な概念や原理・原則を理解したうえで、物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	とや、社会の事象などから設定した問題に対し	うとしたり、問題解決の過程から考察を深めた
	う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 数と式一文字と式 【知識及び技能】 文字計算の原理・原則を理解し、簡単な計算ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、ご適切に変形したりできるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 事象を数と式し、積極的に数学を記しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。	<ul><li>・文字を使った式</li><li>・多項式と単昇式</li><li>・多項式の計算</li><li>&lt; 教材&gt;</li><li>・授業プリント</li></ul>	【知識・技能】 文字計算の原理・原則を理解し、簡単な文字計算ができる。 【思考・判断・表現】 問題の解決に向けて、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	0	0	0	14
定期考査			0	0		1
学期  【知識及び技能】 二次の乗法公式および因数分解の公式の理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、で適切に変形したりできるようになる。  【学びに向かう力、人間性等】 事象を数と式の考えを用いて考察するようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。	<ul><li>・多項式の計算</li><li>・乗法公式</li><li>・因数分解</li><li>&lt;教材&gt;</li><li>・授業プリント</li></ul>	【知識・技能】 二次の乗法公式および因数分解の公式の理解を深め、実際に計算することができる。 【思考・判断・表現】 問題の解決に向けて、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	0	0	0	14
定期考査			0	0		1

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学 I

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1組: 横山 )

使用教科書: (新数学 I / 新数学 I 解答編 (東京書籍)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用し、物事を論理的かつ他の事象と関連付けながら統合的・発展的に考察する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、データの分析についての基本的な概念や原理・原則を理解したうえで、物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	とや、社会の事象などから設定した問題に対し	うとしたり、問題解決の過程から考察を深めた

単元の具体的な指導	目標 指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
C 数と式一実数 【知識及び技能】 数を実数まで拡張する意計した。 「思考力を解決関連がは、表現力では、表現力では、表現力では、表現力では、表現力では、表現力では、表現力では、表現力では、表現力では、表現力では、表現が、表現力では、表別が、表現が、表現が、表現が、表現が、表現をといる。 「学びにあり、大人間性には、表現をを認識して、力、考えをにより、大力、考えをには、まるととしたり、まるととしたり、まるとという。 「学びにありまるようをというすることが、まるというない。」 「大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、大学など、	章ができる	【知識・技能】 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算ができる。 【思考・判断・表現】 問題の解決に向けて、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	0	0	0	15
定期考査 2 学			0	0		1
カ 数と式一方程式と不等式 【知識及び技能】 不等では解することができる。 「思考力、判断力、とに一次で を対している。。」 「思考力、判断力、とに一次で を対している。。 「思考力、判断力、とに一次で を対している。の事な社会のの ・日常とのの ・日常とのの ・日常とのの ・日常とのの ・日常とのの ・日常とのの ・日常との ・日常を数としたの をを認識して、 でいて向から式、 でいてに向から式、 でいてに向から式、 でいてに向から式、 でいてに向から式、 をを認識し、 も間題解決の もしとがで をを認識して、 をないまする。 とにからま、 ・のにといる。 ではないまする。 ではないまする。 といる。 では、 をを認識して、 もいる。 をないまする。 といる。 ・日常とのの ・日常とのの ・日常とのの ・日常との ・日常をもの。 ・日常をもの。 をもいる。 ・日常をもの。 をもいる。 でになった。 でになった。 をもいる。 でになった。 でになった。 でになった。 をもいる。 でになった。 もい。 でになった。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい。 もい	- 次不等式 - 次不等式 - 次不等式の解き方 - 不等式の解き方 - 《教材》 - 授業プリント はどを数学 問題解決に - 章】 で考察す かご考察す り過程から	【知識・技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・不等式の性質もとに一次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	0	0	0	15
定期考査			0	0		1

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 数学 科目 数学 I

教 科: 数学 科 目: 数学 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1組: 横山 )

使用教科書: (新数学 I / 新数学 I 解答編 (東京書籍)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用し、物事を論理的かつ他の事象と関連付けながら統合的・発展的に考察する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりすることができる。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、データの分析についての基本的な概念や原理・原則を理解したうえで、物事を数学的に捉え、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	とや、社会の事象などから設定した問題に対し	うとしたり、問題解決の過程から考察を深めた

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学期	E データの分析 【知識及び技能】 ・用語の意味やその使い方について理 ・用語の意味やその使い方について理 ・コンピューターを活用とすがなる。 と表やグラフとができるようになる。 【思考力に近近な統計量やグラスに適切な統計量やグラストの特徴を選択して分析を行い、その特徴を退れして分析を行い、大間性等】 事象である。 【学びに向かう力、人間性等】 事象するようとしたり、問題解決ので考察があるようとしたり、問題解決ので考察を深めたりすることができる。	<ul> <li>・データの特徴の調べ方</li> <li>・代表値</li> <li>・四分位数と第ひげ図</li> <li>・分散と標準偏差</li> <li>・相関関係</li> <li>〈教材〉</li> <li>・授業プリント</li> <li>・一人一台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・用語の意味について理解し、実際に使いこなすことができる。 ・コンピューターを活用してデータを表やグラフに整理し、基本的な統計量を求めることができる。  【思考・判断・表現】 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法を選択して分析を行い、その特徴を表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学を活用しようとしたり、問題解決の過程から考察を深めたりしようとしている。	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
							合計 78

年間授業計画 様式例

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 理科 科目 科学と人間生活

 
 教 科: 理科
 科 目: 科学と人間生活対象学年組:第 1 学年 1 組~ 組
 単位数: 2 単位

教科担当者:(1組:磯田 )

使用教科書: ( 科学と人間生活 実教出版 )

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然と科学技術と人間生活とのかかわりについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、総合的に判断し、解決に向けて思考する。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を育む。

科目 科学と人間生活

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題	
人間生活とのかかわりについて理解していると  ともに、科学的に探究するために必要な観察・	を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを 行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察し	
実験などに関する技能を身に付けている。		とのかかわりについて社会が発展するための基
	それを表現することができる。	盤となる科学に対する興味・関心を高めてい

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	昛	態	配当時数
	科学と技術の発展 【知識及び技能】・ 海洋の研究・調査の話題を通して、 、海洋のの研究・調査の話題を通して、 、海洋の学のの研究があれたの生活にいかさまでいることでは、 、連業してまかが私理解。 、規連してきまな情を力との。 、世界にはりが発展してきたことで農業が発展して農業が発展してきたる。 、関連で世表。、料学でと、 、地域では、 、地域では、 、地域では、 、地域では、 、地域では、 、は、 、は、 、は、 、は、 、は、 、は、 、は、 、は、 、は、	1章 科学と技術の発展 1. 科学と技術の始まり 2. 海 —とくに深海を科学の眼で見よう— 3. 土 —農業を通して考える—	【知識・技能】 海洋、農業を例にして、現代科学技術の発展の 歴史を理解している。 【思考・判断・表現】 科学技術の活用がどのようになされてきたかを 知り、目指すべき方向を意識できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 科学万能におちいることなく、現代科学は地球 環境との調和を目指していることを理解してい る。	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
1 学期	「外域及の状態」 身近な地域の自然景観をつくりだした諸作用につい潜在する自然災害のリ 身近な地域に潜在する自然災害のリ スクの理解。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な自然景観を適短に観るる。 果や考察をかいの、デーをのでである。 とでは、災害リスクを強に表し、災害リスクの強に表し、災害リスクを強に表し、災害リスクをのでである。 とでは、変弱を変弱を変弱を表し、とが性等した。 とでいた向から利力、人然災うとでは自然、といる自然景観の成と、といる自然のは、といる自然のは、といる自然、といる自然、といる。 自然、といる自然、といる自然、といる自然、といる自然、といる自然、といる自然、といる自然、といる自然、といる自然、といる自然、といるといる。 となり、といる自然、といるといる。 は、どいな自然、ない。といるといるといる自然、といる自然、といる自然、といるといる。 といる自然、といるといる。 といるといるといるといる。 といるといるといる。 といるといるといる。 といるといるといるといる。 といるといるといるといる。 といるといるといるといる。 といるといるといる。 といるといるといるといるといる。 といるといるといるといる。 といるといるといるといるといるといるといるといる。	5章 宇宙や地球の科学 2節 身近な自然景観と自然災害 1. 身近な景観のなりたち 2. 地球内部のエネルギー 3. 自然の恵みと自然災害 特集 地場産業と地学 特集 防災	【知識・技能】 自然景観の形成に対する理解ができ、人間の地 球環境に関する理解の現状をわかる。 【思考・判断・表現】 環境問題を的確に意識し、人類の進むべき方向 を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然景観の成因や自然災害の起きる状況を理解 し、科学的な見方・考え方から進むべき方向性 を持つ。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1

年間授業計画 様式例

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 理科 科目 科学と人間生活

 

 教 科: 理科
 科 目: 科学と人間生活

 対象学年組:第 1 学年 1 組~ 組

 単位数: 2 単位

教科担当者: (1組:磯田 )

使用教科書: ( 科学と人間生活 実教出版 )

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然と科学技術と人間生活とのかかわりについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、総合的に判断し、解決に向けて思考する。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を育む。

科目 科学と人間生活

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等	<u>-                                      </u>	【学びに向かうカ、人				
	自然と人間生活とのかかわりおよび科	人間生活と関連のある自然の事物や現						学的に
	人間生活とのかかわりについて理解し ともに、科学的に探究するために必要	を見出し、見通しをもって実験・観察 行うとともに、ものごとを実証的・論:		採究しようとする態度が養わる  自然の原理・法則や科学技術(				間牛活
	実験などに関する技能を身に付けてい	たり分析したりすることにより、総合に	的に判断し,	とのかかわりについて社会が	発展	する	たと	めの基
		それを表現することができる。		盤となる科学に対する興味・	関心	を高	<b>め</b>	てい
_			•					
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知	思	態	配当 時数

「	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
② 章 物質の科学   1節 材料とその再利用   2章 物質の科学   1節 材料とその再利用   2章 物質の科学   1節 材料とその再利用   2 金属の回りの気管の成り立ちを知り、理解して活用できる。   1	【知識及形は、	2節 光の性質とその利用 1. 光 2. 電磁波の利用	光・電磁波のありかたを理解して、視覚という ものを説明できる。 【思考・判断・表現】 電磁波の現代社会における利用、その利便性と 危険性を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人類がその科学技術をもって生み出してきたも	0	0	0	14
期 2章 物質の科学	-			0	0		1
定期考査	期 フ章 政会 の科学 の科学 の科学 の科学 の科学 の科学 の科学 の科学	1節 材料とその再利用 1. 生活の中のさまざまな物質 2. 金属 3. プラスチック 4. セラミック	身の回りの物質の成り立ちを知り、理解して活用できる。 【思者・判断・表現】 現代社会において利用され、生み出されてきた 物の利便性と危険性を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人類がその科学技術をもって生み出してきたも		0	0	15

年間授業計画 様式例

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 理科 科目 科学と人間生活

 
 教 科: 理科
 科 目: 科学と人間生活対象学年組:第 1 学年 1 組~ 組
 単位数: 2 単位

教科担当者:(1組:磯田 )

使用教科書: ( 科学と人間生活 実教出版 )

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然と科学技術と人間生活とのかかわりについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、総合的に判断し、解決に向けて思考する。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を育む。

科目 科学と人間生活

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題 を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを	
	で見出し、見通しをもって美級・観祭・調査などを   行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察し	
		とのかかわりについて社会が発展するための基
	それを表現することができる。	盤となる科学に対する興味・関心を高めてい

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	・機等を見の地球としている。 一機をとともに、いるとを験を見いたとなりである。 一般を発見のとなりである。 一般を発生ととなりである。 一般を関するとないである。 一般を関するとないである。 一般を関するとないである。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を関する。 一般を理解表にをできる。 一般を理解表にをできる。 一般を理解表にる。 一般を理解表にある。 一般を理解表にある。 一般を理解表にある。 一般を理解を対したったさる。 一般を理解を対したのいる。 一般を理解を通ってから、 一般を理解を対したいる。 一般を理解を対したいる。 一般を理解を対したいる。 一般での理解を表したのでは、からなどののを対し、でいる。 一般を理解でいる。 一般を理解でいる。 一般を理解でいる。 一般を理解でいる。 一般では、一体では、一体では、一体では、一体では、 一般を理解でいる。 一般を理解でいる。 一般を理解でいる。 一般をでいる。 一般をでは、 一般をでは、 一般をでいる。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般をでいる。 一般では、 一般でする。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般でする。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般でする。 一般では、 一をは、	3章 生命の科学 2節 微生物とその利用 1. いろいろな微生物 特集 いろいろな微生物のなかま 2. 微生物の利用 3. 生態系での微生物	【知識・技能】自分という。ヒト。を通じて、生物の生命活動を理解している。 【思考・判断・表現】生命に対する技術の発展が利用され、生み出されてきた物の利便性と危険性を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】生命尊重と生命工学の発展による生命軽視の平衡を意識する。	0	0	0	17
	定期考查			0	0		1 合計 78

### 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I

教 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーション I 単位数: 2 単位 2学年2単位と合わせて4単位履修する。

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1組:関 岳彦)

使用教科書: ( VISTA English Communication I

教科 外国語 (英語) の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語を用いて適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国の文化に対する理解を深め、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
どに広じて適切に活用できる技能を身につけるよ		手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いてきた物、自体的にコミュニケーションを図

話[や]:やりとり 話(発):発表 領域 配. 話話 当時 単元の具体的な指導目標 指導項目·内容 知 思 態 評価規準 聞読 ゃ 書 数 中学までに学習したアルファベット、単語の書き方、辞書の引き方、教室での英語の 【知識及び技能】 Get Ready 1 、単語の書き方、 アルファベット、単語の書き方、 辞書の引き方、教室英語について理 アルファベットを書いてみよう。 使用について理解している。 Get Readv 2 単語をさがしてみよう、書いてみ よう 【思考・判断・表現】 英語を正確に聞いて、どの絵を指している か聞き取っている。読み手にわかりやすい 適切な表現(文字・つづり)を用いて、正 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容について理解して言語 Get Ready 3 辞書で調べてみよう 0000 000 活動へつなげる。 Get Ready 4 教室英語を言ってみよう、使って しく書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な単語の発声、教室英語の対 みよう。 【主体的に学習に取り組む態度】 4年に理解してもらえるような適切な発音 で、基本的な単語の発声、教室英語の対話 をしようとしている。 ののちゃんの英文法 【知識及び技能】 【知識・技能】 抬導事項 中学校までに学習した文法(主語、be動 主語 中学校までに学習した文法(主 be動詞 詞、一般動詞、目的語、形容詞、副詞、前 語、be動詞、一般動詞、目的語、形容詞、副詞、前置詞、冠詞など)に 一般動詞 置詞、冠詞など) について理解すしてい 目的語 ついて理解する。 形容詞 【思考・判断・表現】 副詞 上記の内容について理解して、自分のことを話したり伝えたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の内容について理解して、言 前置詞 00  $\bigcirc$ 冠詞 など 語活動につなげる。 【主体的に学習に取り組む態度】 【学びに向かう力、人間性等】 中学までに学習した文法項目を用 中学までに学習した文法を用いて、自分 のことを話し、伝えようとしている。 学 期 いて、自分のことを話して伝え合 定期考查 1 指導事項 【知識・技能】 Lesson 1 【知識及び技能】 be動詞 be動詞、一般動詞の現在形の肯定文、疑 問文、疑問文について理解している。 一般動詞の現在形、主語が3人称単数の be動詞・一般動詞の現在形に関す 一般動詞 主語が3人称単数の場合も含む る事項を理解する。 春についての対話について、be動 be動詞、一般動詞の肯定文、疑問 場合の語法について理解している。 詞・一般動詞に注意しながら、内容 文、否定文。 を理解する。 【思考・判断・表現】 教材 教科書本文の対話を読み取り、概要や要 【思考力、判断力、表現力等】 教科書本文の内容理解、文法項目 点を把握している。 000 00 0 15 本文の対話を読み取り、概要や要 の定着を図るために授業プリント 占を押据する 【主体的に学習に取り組む態度】 を用いる。 春・色について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相 【学びに向かう力、人間性等】 春・色について、基本的な語句や 文を用いて、与えられたフォーマッ トを参考に、自分の考えを話して伝 一人1台端末の活用 等 手からの質問に答えたりしようとしてい る。 え合う。 定期考查

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I

教 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーション I 単位数: 2 単位 2学年2単位と合わせて4単位履修する。

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1 組:関 岳彦)

使用教科書: ( VISTA English Communication I

教科 外国語 (英語) の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語を用いて適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国の文化に対する理解を深め、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ミュニケーションにおいて 日的わ提声 伴迎か	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いてさなめ、自律的にコミュニケーションを図

	<u>-9 6.</u>	L			話[	や]	: †	りとり 話(発):発表				
					領域	ţ						
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	鵠 [ や ]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	Lesson 2 【知識及び技能】 be動詞、一般動詞の過去形に関する事項を理解する。ディック・ブルーナさんについての本文の内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の対話を読み取り、概要や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 キャラクター・本について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に、自分の考えを話して、伝え合う。	・指導事項 be動詞、一般動詞の過去形 それぞれの肯定文、疑問文、否定 文。 ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目 の定着を図るために授業プリント を用いる。 ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0			【知識・技能】	0	0	0	14
学期	定期考査 Lesson 3 【知識及び技能】 現在進行形、過去進行形に関する 事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 おもしろいスポーツについて、本 文の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツについて、また過去の行動について、基本的な語句や文を用 いて、与えられたフォーマットを参 考に自分の考えを話して、伝え合 う。	・指導事項 現在進行形、過去進行形 ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目 の定着を図るために授業プリント を用いる。 ・一人1台端末の活用 等	0	0	0			【知識・技能】 現在進行形、過去進行形に関する事項について理解している。 【思考・判断・表現】 教科書本文の対話を読み取り、概要や要点を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツについて、また過去の行動について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話してい伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。	0	0	0	1
	定期考査								0	0		1

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションI

教 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーション I 単位数: 2 単位 2学年2単位と合わせて4単位履修する。

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1 組:関 岳彦)

使用教科書: ( VISTA English Communication I

教科 外国語 (英語) の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語を用いて適切に表現したり伝えあったりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国の文化に対する理解を深め、英語を用いて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーション I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】					
の基礎的な理解を深め。これらの知識を実際のコ	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、英語で情報や考えなどの 概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的に理解したり、適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いてされぬ。自体的にコミュニケーションを図					
話[や]:やりとり 話(発):発表							

				-	領域		. \	3りとり 話(発):発表 				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]		書	評価規準	知	思	態	配当時数
	Lesson 4 【知識及び技能】 助動詞can、will、動名詞に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 オリンピック、ピクトグラムなどについて記された本文の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 オリンピック、ピクトグラム、自分のできることについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたえを話して、伝え合う。	・指導事項 助動詞can、will。動名詞-ing形 ・教材 教科書本文の内容理解、文法項目 の定着を図るために授業プリント を用いる。 ・一人 1 台端末の活用 等						【知識・技能】 助動詞can、will、動名詞に関する事項 について理解している。 【思考・判断・表現】 教科書本文の対話を読み取り、概要や要 点を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリンピック、ピクトグラム、自分ので きることについて、基本的な語句や文を用 いて、主体的に考えを話してい伝えたり、 相手からの質問に答えようとしている。				
3 学	様々な話題について、英語で芸語する。  【思考力、判断力、表現力等】 これまでに学んだ知識を駆使して、英語でコミュニケーションを図る。  【学びに向かう力、人間性等】 外国人指導員と積極的に英語でコミュニケーションを図る。	・指導事項 以下のような話題を取り上げる。 自己紹介 好きなもの、きらいなもの 道案内 日常生活について話す 体育祭 ハロウィン クリスマス 年末年始の行事 バレアック 将来の夢 など ・教材 自作のプリントを用いる。		0	0	0		【知識・技能】 様々な話題について、基本的な表現を用いて英語で会話することができる。 【思考力、判断力、表現】 自らが持っている知識を駆使して、英語でコミュニケーションを図ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 外国人指導員と積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	_	0	0	14
	定期考査								0	0		1
											合	計
											7	78

年間授業計画 様式

## 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 体育

 教 科: 保健体育
 科 目: 体育
 単位数: 2
 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 組

教科担当者: (1組:長野泰明)

使用教科書: (新高等保健体育(大修館))

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 運動の特性に応じた技能等及び社会生活の健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動技		
能を高め、各自の能力に応じて、運動の楽しさ		
	思考、判断しながら授業に取り組み、自分の考	
かに継続できるようにする。		運動ができるように意欲的に授業に取り組むこ
		とができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 体つくり運動 【知識及び技能】 各自の能力に応じて自己の技能をより効果的に発揮させる。 【思考力、判断力、表現力等】 運動能力テストの各種目のルールを 理解し、自己の最高度の能力を発揮 するコツを意識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に体ほぐしの運動や体つくり 運動、運動能力テスト取り組ませ る。	体ほぐしの運動 体つくりの運動 運動能力テスト(スポーツテスト 計測)	【知識・技能】 各自の能力に応じて自己の技能をより効果的に 発揮している。 【思考・判断・表現】 運動能力テストの各種目のルールを理解し、自 己の最高度の能力を発揮するコツを意識して運 動をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に体ほぐしの運動や体つくり運動、運動 能力テストに取り組んでいる。	0	0	0	8
1 学期	C 球技 【知識及び技能】 アルティメットの楽しさを味わい、パスやスペースに走りこむ力や防御の基本的な技能を身に付け、仲間とゲームを展開させる。 【思考力、判断力、表現力等】 チームや自己のアルティメットと達の課題を見つけ、課題解決の練伝を記した。 工夫させ、自己や仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を確保して、アルティメットに主体的に取り組ませる。	アルティメット	【知識・技能】 アルティメットの楽しさを味わい、パスやスペースに走りこむ力や防御の基本的な技能を身に付け、仲間とゲームを展開している。 【思考・判断・表現】 チームや自己のアルティメット上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、アルティメットに主体的に取り組んでいる。	0	0	0	10
	B 球技 【知識及び技能】 バドミントンの安定したラケット操作やペアと連携した動きによっよっなうにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 心思考力、判断力、表現力等】。 題を見つけ、課題解決の練習を工き 記せ、自己や仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向からカカ、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を確保して、バドミントンに主体的に取り組ませる。	バドミントン	【知識及び技能】 バドミントンの安定したラケット操作やペアと連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ペアや自己のバドミントン上達の課題を見つけさせ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、バドミントンに主体的に取り組んでいる。	0	0	0	12
	日 体育理論 【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるように指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの交展について、課題のス発し、よりよい解決に向けて、思見し、判断するとともに、他者に云ささる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの交化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に意欲的に取り組ませる。	体育理論	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 について、自分の言葉で説明できる。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 について、課題を発見し、よりよい解決に向け て、思考し、判断するとともに、他者に伝える ことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 についての学習に意欲的に取り組んでいる	0	0	0	2

年間授業計画 様式

## 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 体育

 教 科: 保健体育
 科 目: 体育
 単位数: 2
 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 組

教科担当者: (1組:長野泰明)

使用教科書: (新高等保健体育(大修館))

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 運動の特性に応じた技能等及び社会生活の健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動技		
能を高め、各自の能力に応じて、運動の楽しさ		
や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊		
かに継続できるようにする。		
	えや技能を表現できるようにする。	健康・安全に留意して、生涯を通じて継ん 運動ができるように意欲的に授業に取り とができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	D 球技 【知識及び技能】 卓球の安定したラケット操作やペア と連携した動きによって空いた場所 をめぐる攻防ができるようにさせる。 【思考力、判断力、表達別等題を見つけ、課題解決の練習を工夫させ、 は、課題解決の練習を工夫ささ。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安組ませる。	卓球	【知識・技能】 卓球の安定したラケット操作やペアと連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができている。 【思考・判断・表現】 ペアや自己の卓球上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、卓球に主体的に取り組んでいる	0	0	0	10
	C 球技 【知識及び技能】 パス、ドリブル等の安定したボール と空間を作り出すなどの動きによっ てゴール前への侵入に向けての攻防 をさせるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 チ童の課を見つけ、課題解決の練習 を工夫さる。 【声ムや自己のバスケッ仲間の考えを伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測を主せ、かに取り組ませる。	バスケットボール	【知識・技能】 パス、ドリブル等の安定したボールと空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入に向けての攻防をができている。 【思考・判断・表現】 チームや自己のバスケットボール上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、バスケットボールに主体的に取り組んでいる。	0	0	0	12
2 学期	課題を見つけ、課題解状の練音を上 夫させ、自己や仲間の考えを伝えさ せる。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、危険予測をさせ、安全を 確保して、バレーボールに主体的に 取り組ませる。	バレーボール	【知識・技能】 バレーボールで役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができている。 【思考・判断・表現】 チームやや自己のバレーボール上達の課題を見つけ、課題解決の練習を工夫して、自己や仲間の考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保して、バレーボールに主体的に取り組んでいる。	0	0	0	12
	田 体育理論 【知識】 運動やスポーツの効果的な学習の仕 方について理解できるように指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕 方について、課題を発見し、当断する とともに、他者に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕 方についての学習に意欲的に取り組 ませる。	体育理論	【知識】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、自分の言葉で説明できる。	0	0	0	2

年間授業計画 様式

## 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 体育

 教 科: 保健体育
 科 目: 体育
 単位数: 2
 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 組

教科担当者: (1組:長野泰明)

使用教科書: (新高等保健体育(大修館))

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 運動の特性に応じた技能等及び社会生活の健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動技	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課	運動における競争や協働の経験を通して、公
能を高め、各自の能力に応じて、運動の楽しさ		
や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊		
かに継続できるようにする。		運動ができるように意欲的に授業に取り組むこ
		とができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3	H 陸上競技 【知識及び技能】 特や表定で記録の向上や競争の楽しさースを記録の向上や競争の楽しさースを維持して走ることができまして、当ま者力・判断力、表現力等】自己や仲間の持久走の練習を見つけ、課題解決の練習をよっさせる。 【思考力中間の持久走の練習を立させ、中間である。 【学びに向かう力、人間性等】 危険予知、たり組制をはい、取り組ませ、なり組ませ、なり組ませ、なり組ませ、なり組ませ、なり組ませ、なり組ませ、なり組ませ、大り組ませ、大り組ませる。	持久走	【知識・技能】 持久走で記録の向上や競争の楽しさや喜びを味 わい、自己に適したペースを維持して走ること ができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の特久走の記録向上の課題を見つ け、課題解失の練習を工夫して、自己や仲間の 考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 危険予知、危険予測をしながら、安全を確保し て、持久走に主体的に取り組んでいる	0	0	0	10
							合計
							78

### 年間授業計画 新様式

## 南葛飾 高等学校 令和7年度 (1学年用) 教科 保健体育 科目: 保健 料 目: 保健 単位数: 1 単位 科目 保健

 教 科: 保健体育
 科 目: 保健

 対象学年組:第 1 学年 1 組~
 組

教科担当者: (1組:長野泰明 ) 使用教科書: (新高等保健体育 (大修館)

教科 保健体育 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】技能及び健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を表う。	

)

A 日本における健康課題の変遷 【知識及び技能】 健康・安全について理解を深めるとと もに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて 思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度 を養わせ、意欲的に取り組ませる。  1 B 現代における感染症の問題 と 産業の予防     世 性感染症・エイズとその予防     【任滅及び技能】     「知識及び技能】     「知識及び表能】     「知識など、表述など、表述など、表述など、表述など、表述など、表述など、表述など、表述	0	0	0	時数
□ C 感染症の予防 会の環境が影響することについて理 健康・安全について理解を深め、技能を身につ けている。				6
健康・安全について理解を深めるととする。 もに、技能を身につけるようにする。 【思考カー判断力、表現力等】	0	0	0	7
定期考査	0	0		1
E 生活習慣病の予防と回復 F 身体活動・運動と健康 【知識及び技能】 健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理が上計画的な解決に向けて思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 明ると生活を強む態度を養かせ、意欲的に取り組ませる。 【学びに向かう力、人間性等】 の身体活動・運動と健康の関係について過度が発決に向けて思考し判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、で理解する。 「学びに向から力、人間性等】 で表力ある生活を営む態度を養い、で理解する。 「学びに向から力、人間性等」 の身体活動・運動と健康の関係について通解が発決に向けて思考し判断している。 「学びに向から力、人間性等】 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、電欲的に取り組んでいる。 で理解する。 「学びに向から力、人間性等】 の方の表生活を営む態度を養い、電欲的に取り組んでいる。 で理解する。	0	0	0	8
□ 食事と健康   休養・睡睐と健康   公食事と健康の関係について理解す   「知識及び技能】   「知識及び技能】   「知識及び技能】   「知識及び技能】   「知識及び技能】   「健康・安全について理解を深めるとと   人及び社会の取り組みについて理解   「思考力、判断力、表現力等】   「世界力、判断力、表現力等】   「世界力、判断力、表現力等】   「世界では一向他や社会の課題を発見し、合 「他集帐についての自他や社会の課題を発見し、合 「一般事」   「他事する。 「一般事」   「一般事」	0	0	0	8
定期考查	0	0		1
□ 喫煙と健康 □ 対策と健康 □ 対策及び技能 □ 埋解する。 □ 対策及び技能 □ 健康・安全について理解を深めるとと は、技能を身につけるようにする。 □ 世界する。 □ 世界 中国	0	0	0	7
定期考查	0	0		1
				合計 39

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 芸術 科目 音楽

 教 科: 芸術
 科 目: 音楽
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1組: 李 )

使用教科書: (音楽 I Tutti+

教科 芸術 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 音楽全般の歴史、知識を高める。

【思考力、判断力、表現力等】 自分の表現したい音を、楽器を見つけ、課題をもって演奏技術の向上に取り組む。

【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現を通じて、自己の表現力の豊かさを育み、他の奏者の表現を学ぶ。

科目 音楽 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	自分の表現したい音を、楽器を見つけ、課題を もって演奏技術の向上に取り組む。	音楽表現を通じて、自己の表現力の豊かさを育 み、他の奏者の表現を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・芸術・音楽オリエンテーション 【知識及び技能】 楽器の使い方、手入れとしまい方 について 【思考力、判断力、表現力等】 各自、1学期選択曲選出 音楽史 (クラッシック〜ポピュラー) 実技テスト 【学びに向かう力、人間性等】 道具を大切に扱うこと。	オリエンテーション 選択楽器決め 各自、1学期選択曲選出 音楽史(クラッシック〜ポピュ ラー) 実技テスト	【知識・技能】 音楽史について(クラシック <sup>~</sup> ポピュラー) 【思考・判断・表現】 課題曲への取り組みと楽器の演奏技術 【主体的に学習に取り組む態度】 道具を大切に扱うこと。 楽器の演奏練習に取り組む姿勢	0	0	0	29
2 学期	【知識及び技能】 各自の技術レベルに合う選択曲を提示する クリスマスソングのバリエーション 【思考力、判断力、表現力等】 発表会形式で各自発表する クリスマスをテーマに合奏を行う 【学びに向かう力、人間性等】 演奏技術の向上 合奏の技術	各自選択曲選出 個人練習 合奏練習 実技テスト クリスマスソングについて クリスマスソング楽器練習 合奏	【知識・技能】 自分の演奏技術の理解。 提示された選択曲への理解を深め楽器演奏で 表現する。 クリスマスソングについての知識。 【思考・判断・表現】 発表会形式のなかでの演奏 合奏の中での自己表現を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 演奏練習に取り組む変勢。 合奏という、協力して一つの作品を作り上げ ようとする姿勢	0	0	0	29
3 学期	【知識及び技能】 1,2学期を踏まえ、選択曲を提示する 各自の技術に応じた課題曲と合奏曲の選択 「【思考力、判断力、表現力等】 発表会形式で各自発表する クリスマスをテーマに合奏を行う 【 「学びに向かう力、人間性等】 演奏技術の向上 合奏の技術	1, 2学期の復習 グループ合奏 (グループ決め、選 択曲選出) グループ発表 実技テスト , 1年間のまとめ	【知識・技能】 自分の演奏技術の理解。 提示された選択曲への理解を深め楽器演奏で 表現する。 合奏曲に対する理解と知識。 【思考・判断・表現】 発表会形式のなかでの演奏 合奏の中での自己表現を行う 【主体的に学習に取り組む態度】 演奏練習に取り組む姿勢。 合奏という、協力して一つの作品を作り上げ ようとする姿勢	0	0	0	20
							合計 78

年間授業計画 新様式例

# 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 芸術 科目 美術 I

教 科: 芸術 科 目: 美術 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1組:山本 一博) 使用教科書:日本文教社 高校美術1

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する力を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社

Г			表現							配	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	<b>絵</b> • 彫	デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
	A「オリエンテーション」 【知識及び技能】 年間の美術 I の学習内容及びその目標について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作例、生徒作品や教科書の鑑賞をとおして、創造的な表現の工夫について見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な活動に主体的に取り組む。	て、制作例を取り上げることで美術 I の学習のイメージを持たせ、				0	【知識・技能】 年間の学習内容とその目標について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 作例、生徒作品や教科書の鑑賞をとおして、 創造的な表現の工夫について見方や感じ方を 深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な活動に 主体的に取り組もうとしている。	0	0	0	4
	B「名画の模写-地獄におちた魂」 【知識及び技能】 鉛筆の線や濃淡による制作を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 迫真に迫る表現について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 名画の模写に主体的に取り組む。	指導項目 ・ミケランジェロの生涯 ・作品の構図、顔の表情 内容 ミケランジェロの人物素描の模写 をとおして、表現方法を学び、表現の意図について考える。	0			0	【知識・技能】 鉛筆の線や濃淡による制作方法を理解している。 【思考・判断・表現】 名画のもつ造形的なよさや美しさを理解して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 名画の模写に主体的に取り組もうとしている。	0	0	0	4
1 学期	で「自画像一鏡に映らない自分とは」 【知識及び技能】 構図や表情、色彩効果、全体のイ メージを捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 構図や表情などの効果を考える。 【思の表情などの効果を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 内面の表現に主体的に取り組む。	指導項目 ・鉛筆描画-構図やポーズ ・明暗・質感 ・般具着彩-淡彩表現、混色と重 ・絵具着彩-淡彩表現、混色と重 色の鑑賞 表情やポーズを工夫し、鏡に映ら ない「私」を表現する。		0		0	【知識・技能】 構図や色彩などが感情にもたらすオメラッキの 特徴などが感情にもたらすオメラッキの を生影などが感情にもたらすオメラッキで を生がしまえる。とはなどではいる。 目のかすなどでともの見などの制造工 を生かかすととも制造功表している。 目の主題やしま表現方表している。 自己ともの制造功表している。 は思考見ともの制造功力をことや考えたたから ともの制造功が感じ力を考えたないない。 は思考見を生成し、表現形式のいて考え、 自己を題を生成し、表表でいる。 を生からに、他の構成なでいる感じ取失などのので、作者の が表表現のなと創造が立る。 との構想を発しな表現のめていまる。 は一般のでとないまないで、 を関からにでいる。 は一般のでといる。 は一般のでは、表現のないで、まる側のでなどを基体的に取感に力をといな。 は一般のでといる。 は一般のでは、表現のないで、表す側ので、 は一般のでといる。 は一般のでは、表現のないで、 を表現のなどを表しい、 にしたいして、表現のなど、 は一般のでは、またのにで、 は一般のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	0	0	0	14
	D「平面構成」 【知識及び技能】 造形の秩序を生む構成の要素や無彩 色と有彩序であらわす調和について 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主題性のある表現を追求する。 【学びに向かう力、人間性等】 創造的活動に主体的に取り組む。	指導項目 ・画面分割 ・グラデーションの作成 ・無彩色と有彩色による配色 ・教科書作品の鑑賞 内容 直線と円で画面を分割する平面構成のアイデアスケッチをおこな い、これに基づき、平面構成も含制作する。明度計画に基づき、効果的な配色を考案する。	0			0	知識・技能】 造形の秩序を生む構成の要素や無彩色・有彩 色であらわす調和について理解している。 【思考・判断・表現】 主題性のある表現を追求して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 創造的活動に主体的に取り組もうとしている。	0	0	0	9

年間授業計画 新様式例

# 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 芸術 科目 美術 I

教 科: 芸術 科 目: 美術 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1 学年 1 組 教科担当者: (1組:山本 一博) 使用教科書:日本文教社 高校美術1

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する力を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社

	T .	表現					1				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵・彫		映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
2	E「名画の模写一最後の晩餐」 【知識及び技能】 空間を表す遠近法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニットによる群像表現や演劇的な 手による表現について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 創造的活動に主体的に取り組む。	指導項目       ・レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯         ・キリストと12使徒について       ・消失点(vanishing point)         ・線遠近法と空気       遠近法・作品の構図、使徒の構成や手の表情         ・牧科書作品の機質       内容教科書より「作家探求 レオナルド・ダ・ヴィンチ」を取り上げ、「最期の晩餐」鉛筆模写を通して作者の表現と意図について考える。				0	知識・技能】 遠近法について理解している。 【思考・判断・表現】 名画の造形的なよさや美しさを理解して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 名画の模写表現に主体的に取り組もうとしている。	0	0	0	11
1学期	F「私のSDGsな住まい」 【知識及び技能】 二点透視図法について理解し、一学期の平面構成学習を生かした配色をする。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマをを追求して表現したり鑑賞 したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 完成させる意欲をもち表す創造活動 に、主体的に取り組む。	・点景の表現 ・色彩計画 ・教科書作品の鑑賞 内容 二点透視図法をつかい、自然と共 生する住宅や街並み、脱炭素社会	0			0	【知識・技能】 二点透視図法について理解している。形や色 二点透視図法について理解している。形や色	0	0	0	16
	G「身近な生活から」 【知識及び技能】 版画の制作プロセスを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 版画の特性を理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 創造的活動に主体的に取り組む	指導項目 ・テーマと表現 ・アイデアスケッチ ・一版多色木版画のプロセス ・陰刻の技法 ・重色の効果について ・教科書作品の鑑賞 内容 身近な生活からをテーマに印象に 残る場面を一版多色木版画で表現	0			0	【知識・技能】 版画の制作プロセスを理解している。 【思考・判断・表現】 (となる) 「思考・判断・表現) に対して、となる。 「となる表現を追求して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 創造的活動に主体的に取り組もうとしている。	0	0	0	16
学	H「葛飾北斎と歌川広重」 【知識及び技能】 構図や色彩などの効果、版画の技術作風、保着などを捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 浮世絵版画の発展の歴史や、作品のよさや美しさ、美術文化の継承と創造について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 美術や美術文化と豊かに関わり、浮世絵版画の鑑賞 の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	内容 教科書より「浮世絵版画の魅力」 を取り上げ、浮世絵の歴史や二大 山水画家である葛飾北斎と歌川広 重の個性と表現の違いを考察す る。				0	【知識・技能】 構図や色彩などの効果、造形的な特徴など を基に、よさや美しさなどを全体のイメージ や作 風、様式などで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】 浮世絵版画のよさや美しさ、美意識や創造性 などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的 なま現の工夫、日本の美術の歴史や表現の特 質、美術文化について考え、見方や感じ方を 深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 美術や文化と豊かに関わり、浮世絵版画 の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうと している。	0	0	0	4 合計 78

 
 情報
 科目

 単位数:
 2
 単位
 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 科目 情報 I

 教 科: 情報
 科 目: 情報 I

 対象学年組:第 1 学年 1 組

教科担当者: (1組: 小出 )

使用教科書: ( 高校情報 I Python (実教出版)

教科 情報

【 知 識 及 び 技 能 】 情報と情報技術の技能を身に付ける。情報社会と人の関りについての法規とマナーについて学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 法規や制度及びマナーを守り、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標:

•		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、	さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情
や責任等について、情報と情報技術の理解と併	する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	報と情報技術を活用することで情報社会に主体 的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	情報社会 【知識及び技能】 情報社会における様々な約束事・定義づけを学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会における様々な問題に対し、適切な判断・対応を考えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の一員として会得した知識を問題解決・情報社会の健全な発展にむける。	知的財産権の概要と産業財産権 著作権	【知識・技能】 情報社会における様々な約束事・定義づけを 学び、表現し他人に説明できる。 【思考・判断・表現】 情報社会における様々な問題に対し、適切な 判断・対応を考え、行動できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会の一員として会得した知識を使い、 問題解決に向け発意できる。	0	0	0	15
	情報デザイン 【知識及び技能】 コミュニケーションとメディアについての知識 Webページ作成ソフトの利用法 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを意識して、Web上での印象の変化を考慮し発信するという考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のやりたいことを発信することではなく、他者にわかりやすい情報発信を意識できる。		【知識・技能】 Webページ作成ソフトの仕様を理解して活用することができる。 【思考・判断・表現】 情報発信をする際に、Web上での印象の与え方・影響を考慮して作成する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の表現したいことを考えて構成するとともに、他者にわかりやすく伝えることを心掛けているか。	0	0	0	14

 
 情報
 科目

 単位数:
 2
 単位
 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 科目 情報 I

 教 科: 情報
 科 目: 情報 I

 対象学年組:第 1 学年 1 組

教科担当者: (1組: 小出 )

使用教科書: ( 高校情報 I Python (実教出版)

教科 情報

【 知 識 及 び 技 能 】 情報と情報技術の技能を身に付ける。情報社会と人の関りについての法規とマナーについて学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 法規や制度及びマナーを守り、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標:

•		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、	さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情
や責任等について、情報と情報技術の理解と併	する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	報と情報技術を活用することで情報社会に主体 的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2	デジタル 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みを理解し、 データの処理がどのように行われて いるかを理解する。 コンピュータを効率よく利用するための方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 デジタル情報の特性とその情報表 示の方法を考え、利用する。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータ上での響を考慮した表現に取り組む。	データの圧縮と効率化	【知識・技能】 コンピュータの基本構成を理解している。コンピュータ上での情報処理がどのように行われているかを知り、コンピュータの性能を十分に活用できる。 【思考・判断・表現】 コンピュータ上での情報処理がどのように行われているかを知り、音や画像の表現に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】コンピュータ上での音や画像の表現の特性を自己の表現に活かすことができているか。	0	0	0	16
学期	ネットワーク 【知識及び技能】 インターネットの仕組みを理解する。 情報システム構成と安全性を担保する仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットを利用し、データベースを構築する際に配慮すべき安全対策を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットの持つ危険性を理解したうえで、より安全な活用を考える。	情報システムとデータベース 個人による安全対策 安全のための情報技術	【知識・技能】 インターネットと接続するうえで必要なことを理解している。セキュリティ問題を理解している。 【思考・判断・表現】 インターネットと特性を理解し、安全性を考えて情報を活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 インターネットの利便性を知り活用する。情報共有化のリスクを熟知したうえで積極的に活用できる。	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1

 
 情報
 科目

 単位数:
 2
 単位
 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 科目 情報 I

 教 科: 情報
 科 目: 情報 I

 対象学年組:第 1 学年 1 組

教科担当者: (1組: 小出 )

使用教科書: ( 高校情報 I Python (実教出版)

教科 情報

【 知 識 及 び 技 能 】 情報と情報技術の技能を身に付ける。情報社会と人の関りについての法規とマナーについて学ぶ。

【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 法規や制度及びマナーを守り、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標:

•		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、	さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情
や責任等について、情報と情報技術の理解と併	する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	報と情報技術を活用することで情報社会に主体 的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学期	用語の意味やその使い方について 理解する。 コンピューターを活用してデータを表やグラフに整理し、分析することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法を選択して分析を行い、その特徴を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 データ収集の重要性を理解し、シミュレーションの考え方から考察を深めたりすることができる。	モデル化・確定的モデルのシミュレーション アルゴリズムとプログラミング プログラミングの基本・配列・関 数・探索・整列	【知識・技能】 ・用語の意味について理解し、実際に使いこなっことができる。 ・コンピューターを活用してデータを表やグラフに整理し、基本的な統計量を求めることができる。 【思考・判断・表現】 目的にじて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法を選択して分析を行い、その特徴を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、積極的に数学考察を深めたりしようとしている。	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1
							合計 78

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用)教科 人権 科目 人権 I

単位数: 2 単位 

 教 科: 人権
 科 目: 人権 I

 対象学年組:第 1学年 1組

教科担当者: (1組: 横山祐太、吉本未来 ) 使用教科書: (自校作成プリント )

教科 人権 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 様々な人権問題について知り、正しい知識を身に付けたうえで、考察したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができるようになる。

科目 人権 I の目標:

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1		人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表できる力を 養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
期	A オリエンテーション 【知識及び技能】 本校の人権教育の歴史と、学校設定 科目「人権」の授業について知り、学 ぶ意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人権を学ぶことが自分自身にも意義 のあることであると理解し、養う う生きていくか考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏 まえたうえで自分自身の考察をさらに 深めることができるようになる。	<ul><li>・授業プリント</li><li>・動画教材</li></ul>	【知識・技能】 本校の人権教育の歴史と、学校設定科目 「人権」の授業について知り、学ぶ意義について理解している。 【思考・判断・表現】 人権を学ぶことが自分自身にも意義のあることであると理解し、自身がどう生きていくか考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができる。	0	0	0	6
	B 性的マイノリティ、LGBT 【知識及び技能】 性的マイノリティ(LGBT)についての正しい知識を身に付け、それを踏まとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 性的マイノリティ(LGBT)に関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を丁寧に関き、系を踏に決めることができるようになる。	< 教材> ・授業プリント ・動画教材	【知識・技能】 性的マイノリティ(LGBT)についての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 性的マイノリティ(LGBT)に関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができる。	0	0	0	9
	て情報モラル 【知識及び技能】 情報モラルについての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】情報モラルに関する人権問題を自分に関する人権問題をして受け止め、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができるようになる。	<教材> ・授業プリント ・動画教材	【知識・技能】 情報モラル、SNSトラブルについての正しい 知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 情報モラル、SNSトラブルに関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができる。	0	0	0	10

#### 南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用)教科 人権 科目 人権 I

単位数: 2 単位 

 教 科: 人権
 科 目: 人権 I

 対象学年組:第 1学年 1組

教科担当者: (1組: 横山祐太、吉本未来 ) 使用教科書: (自校作成プリント )

教科 人権 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 様々な人権問題について知り、正しい知識を身に付けたうえで、考察したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができるようになる。

科目 人権 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
様々な人権問題について知り、正しい知識を身に付けたうえで、考察したことを自身の言葉でまと める技能を身に付ける。	身がどう生きていくか考察し、発表できる力を				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	D 同和問題(部落差別) 【知識及び技能】 部落差別についての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 部落差別に関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身さていくか考察し、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を丁寧に聞き、柔を踏まえたうえで自分自身のようになる。	<ul> <li>・部落問題とは</li> <li>・部落問題の歴史</li> <li>・部落差別の現状</li> <li>&lt;数材&gt;</li> <li>・授業プリント</li> <li>・動画教材</li> </ul>	【知識・技能】  部落差別についての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめることができる。  【思考・判断・表現】  部落差別に関する人権問題を自分自身の課題とし受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができる。	0	0	0	12
2学期	E 差別 【知識及び技能】 障害者差別・高齢者差別などについての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】障害者差別・高齢者差別などに関する人権問題を自分自身の課題として必考察し、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】他人の意見をで自分自身の表察を踏まえたうえで自分自身らになる。	<ul> <li>・障害者差別</li> <li>・高齢者差別</li> <li>・外国人差別</li> <li>・女性差別</li> <li>〈教材〉</li> <li>・授業プリント</li> <li>・動画教材</li> </ul>	【知識・技能】 障害者差別・高齢者差別などについての正 しい知識を身に付け、それを踏まえて考察し たことを自身の言葉でまとめることができ る。 【思考・判断・表現】 障害者差別などに関する人権 問題を自分自身の課題として受け止め、自身 がどう生きていくか考察し、発表することが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえた うえで自分自身の考察をさらに深めることが できる。	0	0	0	11
	F ハラスメント 【知識及び技能】 ハラスメントについての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ハラスメントに関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができるようになる。	・セクシャルハラスメント ・パワーハラスメント ・マタニティハラスメント <教材> ・授業プリント ・動画教材	【知識・技能】 ハラスメントについての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ハラスメントに関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができる。	0	0	0	11

南葛飾 高等学校 令和7年度(1学年用)教科 人権 科目 人権 I

 

 教 科: 人権
 科 目: 人権 I

 対象学年組:第 1 学年 1 組

 単位数: 2 単位

教科担当者: (1組: 横山祐太、吉本未来 ) 使用教科書: (自校作成プリント )

教科 人権 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 様々な人権問題について知り、正しい知識を身に付けたうえで、考察したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができるようになる。

科目 人権 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
付けたうえで、考察したことを自身の言葉でまと	人権問題を自分自身の課題として受け止め、自 身がどう生きていくか考察し、発表できる力を 養う。				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	G 感染症と人権 【知識及び技能】 ハンセン病などについての正しい知したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンセン病などに関で受け止め、自分自分は関連として祭祭し、発表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を力の言葉を入れる路として意見を表さらになる。	<数材> ・授業プリント ・動画数材	【知識・技能】 ハンセン病などについての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ハンセン病などに関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができる。	0	0	0	9
期	旧 貧困問題 【知識及び技能】 貧困問題についての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 貧困に関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどうを養し、必表できる力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 他人の意見を力自りの考察を踏に見られる。とができるようになる。	<ul><li>・授業プリント</li><li>・動画教材</li></ul>	【知識・技能】 貧困問題についての正しい知識を身に付け、それを踏まえて考察したことを自身の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 貧困に関する人権問題を自分自身の課題として受け止め、自身がどう生きていくか考察し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の意見を丁寧に聞き、それを踏まえたうえで自分自身の考察をさらに深めることができる。	0	0	0	10
							合計 78